

会議結果報告書

令和5年10月2日

会議の名称	志木市文化財保護審議会
開催日時	令和5年9月29日（木）午後3時～5時
開催場所	志木市役所 大会議室3-1ほか
出席委員	井上國夫委員、深瀬克委員、上野守嘉委員、新田泰男委員 (計 4人)
欠席委員	大木雄平委員 (計 1人)
説明員職氏名	生涯学習課 土崎課長、徳留主査、石川主任 (計 3人)
議題	1 文化財所在地現地確認及び調査 (1) 佃堤について (2) 中宗岡の御嶽塚について 2 議事 (1) 「中宗岡の御嶽塚」の指定について
結果	1 文化財所在地現地確認及び調査 (1) について、工事経過を確認していく。 (2) について、引き続きより深く調査を進める。 2 議事 (1) について、「中宗岡の御嶽塚」を市指定文化財候補とすることについて、同意が得られた。 (傍聴者 0人)
事務局職員	生涯学習課 土崎課長、徳留主査、石川主任

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 開 会

2 あいさつ

3 文化財所在地現地確認及び調査

(1) 佃堤について

資料 1

会場：志木市指定文化財 佃堤（志木市上宗岡2丁目）

〈説明員〉

資料により説明。

〈質疑応答等〉

委員) 水路工事は一般的なU字溝の設置ということか。

事務局) そうである。一昨年実施した水路整備と同じイメージである。

事務局) 水路に入っていけないようにフェンスを設置するが、景観と調和するような色合いを要望している。

委員) 左右にフェンスができるのか

事務局) 入口だけと聞いている。

委員) どこまでが佃堤として指定範囲なのか。

事務局) お渡しした図面を確認いただきたい。今回の工事予定地は文化財指定範囲には入らない。

(2) 中宗岡の御嶽塚について

資料 2

会場：中宗岡の御嶽塚（志木市中宗岡2丁目）

〈説明員〉

資料により説明。

〈質疑応答等〉

事務局) 碑には日行星山の名前や、普寛堂行者の名前があることから、周辺の富士講・御嶽講とも関わりがあったことがうかがえる。

委員) 火を受けて表面が剥離している石造物がある。これ以上剥離を進めないために何か対策をとるべきだろう。

事務局) 検討していきたい。

委員) 樹木はどのように管理していくか。

事務局) 塚に影響のないように剪定を行っていく。文化財の管理として草刈りも行う。

委員) 築造に関する文書等はなかったか。

事務局) 現在所有者と関係者に確認したが現存していない。引き続き調査をすすめる。

委員) 石造物から、塚の築造年代は明治 25 年頃と言うしかないだろう。

4 議事

会場：志木市役所大会議室 3-1

(1) 「中宗岡の御嶽塚」の指定について

資料 3

〈説明員〉

資料により説明

中宗岡の御嶽塚について、調査の結果、貴重な文化財であることから、志木市指定文化財にしたいと考えている。文化財保護審議会に諮問するものである。

〈質疑応答等〉

委員) 文化財名は旧字名の方がよいのではないかと思うがどうか。

事務局) 御嶽塚を築いたのが宗岡一山講であることと、また今回、周辺地域や大田区等でも調査を行い「宗岡」という記載が見られたことから、文化財名に「宗岡」を残すために「中宗岡の御嶽塚」とした。

委員) 羽根倉富士嶽、中宗岡御嶽塚、田子山富士塚の石造物の碑文から、それぞれ人の交流があったことがよくわかる。志木市の歴史の上ではとても貴重な資料である。

会長) 指定に同意するとのことでよいか。

委員) 異議なし。

5 報告事項

・郷土資料館特別展「志木の板碑と中世の弔い」について

6 閉会 深瀬職務代理